



# 校長室だより

2022年6月10日

校長 小崎 功二



学校 HP

## 開かれた学校

現在、児童生徒の安全を守るために、各学校で様々な取組がなされています。その中でも、不審者対応訓練や防犯ボランティアによる見守り活動等のきっかけの一つとなったのは、今から21年前に起きた大阪での事件でした。

2001年6月8日午前10時15分ごろ、大阪の国立教育大付属小学校に、刃物を持った男が乱入。痛ましい事件でした。

それ以来、全国の学校は防犯対策に迫られることとなりました。全国的な傾向として、壁を高くし、外部から人を招くことを控え、学校を閉ざす方向に向かってきたように思われます。

しかし今、この郡山小学校に勤務し、登校時から下校時まで児童とふれあう中では、学校を閉ざすことは、必ずしも児童の安全確保に有効ではないと感じています。

毎朝の巡視では、子供たちだけでなく、多くの地域の皆様とも挨拶を交わします。交通指導隊の皆様や朝の交通指導当番の保護者の皆様、東北電力の皆様や通勤途中の方々など、多くの皆様が子供たちを見守ってくださっています。不審者対応として、知らない人に声を掛けられたら逃げることや、決してついて行かないこと等については指導していますが、郡山小学校の子供たちには、地域の皆様には積極的に挨拶をするようにも声掛けしています。

学校には、おやじの会、読み聞かせボランティア「そらまめ」、総合的な学習の時間のゲストティーチャー、避難所運営委員会、各町内会長や役員、交通指導隊、防犯ボランティア、社会学級、清掃ボランティア、PTA 役員、学校運営協議会委員、スポーツ少年団の指導者、施設開放利用団体等、地域の皆様が頻繁にお越しになり、子供たちのために活動して下さったり、学校を活動の場として利用していただいたりしています。このような郡山小学校の姿を見るに付けて、学校が地域の皆様から大切にされていることを感じ、学校を閉ざすのではなく、日常的に信頼できる多くの大人が児童や学校を見守る体制をつくるのが、本当の意味での安全な学校づくりにつながるのではないかと感じるようになりました。

地域の皆様には、今後も学校と手を携えて、「地域と共にある、開かれた安全な学校づくり」のためにご協力いただきますよう、改めてお願いいたします。

..... 切り取り線 .....

子供たちのための、意見・提案・要望・校長に知らせたいこと など

**2022年6月10日 ( )年 ( )組 児童氏名**

※匿名でも結構ですが、御連絡が必要な場合等を考え、記名していただけるとありがたいです。

※担任に御提出いただいても、校長室前のポストに直接入れていただいても、校長に直接手渡していただいても、いずれでも結構です。

※メールでも随時受け付けております。kosaki-k@sendai-c.ed.jp (校長直通)